

市の委託業者による資源ごみの回収



### 平成26年 第4回定例会

## 府中市廃棄物の処理及び再生利用に関する 条例の一部を改正する条例など 17議案を審議

### 17議案を審議

平成26年第4回市議会定例会は、11月28日から12月15日までの18日間の会期で開催されました。市長提出議案は、府中市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例の一部を改正する条例など15件を審議した結果、可決12件、同意2件、承認1件となりました。議員提出議案は、2件を審議した結果、すべて可決されました。また、陳情3件が審議されました。

### 意見書

◎地方公共団体金融機構納付金制度の廃止に関する意見書

地方公共団体金融機構への納付金制度は、昭和45年に創設された。当時、公営競技の収益は著しい増加を示し、施行団体と非施行団体との行政水準・財政力の不均衡が問題となっており、10年間の時限措置として導入されたものが、累次にわたり期限延長されてきている。

モーターボート競走事業施行者が、今までに地方公共団体金融機構に納付した金額は約5100億円以上の膨大な金額に上り、十分に初期の目的は達せられたと考えている。

よって、本市議会は、政府に対し、地方公共団体金融機構納付金制度の廃止の実現を強く要請する。

◎労働者保護ルールの見直し等雇用の安定を求める意見書

国においては、現行の労働基準法など労働法制の見直しが検討されているが、労働者を保護するルールの後退が危惧されている。雇用・労働施策は、国際標準であるILOの三者構

### 人事議案

定例会最終日の本会議に市長から教育委員会委員の任命の同意を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

■教育委員会委員  
崎山 弘 氏(56歳)  
齋藤 裕吉 氏(64歳)

### 一般質問に

#### 一問一答を導入

府中市議会では、議会改革の一環として、今定例会より一般質問に一問一答方式を導入しました。

これまで行っていた一括質問方式(内容の異なる項目をすべて質問した後、市長や各部長などがまとめて答弁する方式)に加え、一問一答方式(質問項目ごと、または質問ごとに市長や各部長などが答弁を行い、制限時間内であれば発言回数の制限を行わない方式)を導入することで、これまで以上に多様な方法で市政に対する提言が可能となりました。

なお、一括質問方式と一問一答方式は選択制としています。

### 定例会日誌

(次の日程で開催しました)

- <11月>
- 28日 本会議 (委員会付託等) 総務委員会
- <12月>
- 1日 本会議 (一般質問)
- 2日 〃 (〃)
- 3日 総務委員会
- 4日 文教委員会
- 5日 厚生委員会
- 8日 建設環境委員会
- 9日 基地跡地対策特別委員会 議会運営委員会
- 10日 再開発対策特別委員会
- 11日 市庁舎建設特別委員会
- 15日 議会運営委員会 本会議 (常任・特別委員会審査報告等) 総務委員会